

事業番号

2023 - 文科 - 新24 - 0011

令和5年度行政事業レビューシート		(文部科学省)					
事業名	各学校・課程・学科の垣根を超える高等学校改革推進事業		担当部局	初等中等教育局		作成責任者	
事業開始年度	令和6年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(高等学校担当)	参事官(高等学校担当) 田中 義恭	
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)			関係する計画、通知等	高等学校教育の在り方ワーキンググループ中間まとめ(令和5年8月)			
政策	2 確かな学力の向上、豊かな心と健やかな体の育成と信頼される学校づくり		主要経費	教育振興助成費			
施策	2-1 確かな学力の育成						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221215-mxt_kanseisk01-000026547-07-2.pdf						
事業の目的(5行程度以内)	地理的状況や各学校・課程・学科の枠に関わらず、いずれの高等学校においても柔軟で質の高い学びを実現し、全ての生徒の可能性を最大限引き出すことができるようにしていくことが必要である。そのためにも、遠隔授業や通信による教育方法の活用、学校間連携の推進を通じ、生徒の多様な学習ニーズへの対応や特色ある教育の展開、生徒同士の学び合いの深化等を可能とする体制・環境の整備が必要。						
現状・課題(5行程度以内)	・学校の立地、リソース等に伴う制約により、学校が生徒の多様な学習ニーズに対応しきれていない等の課題がある。 ・各課程に関する制度等により多様な背景を有する生徒の受け入れが特定の学校・課程に偏っていたり、生徒の在籍する学校・課程・学科により、その後の進路の固定化が生じやすかったりするといった課題がある。						
事業概要(5行程度以内)	①【遠隔・通信等も活用した、学びの機会の充実ネットワークの構築】通信制高校や教育センター等を中心拠点として遠隔教育や通信教育を活用した積極的な域内の学校間の連携・併修ネットワークを構築するモデル事業を実施する。 ②【都道府県の枠組みを超えた、高等学校連携ネットワークの構築】都道府県の枠組みを超えた複数の高等学校での合同授業(総合的な探究の時間や学校設定科目を想定。)の実施を通じた生徒同士の学び合いの深化、各々の得意分野を持つ指導者・外部人材等のリソースの共有を行う学校群ネットワークを構築する。						
事業概要URL							
実施方法	委託・請負						
補助率等							
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)	予算の状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
			/	/	/	/	/
			/	/	/	/	/
			/	/	/	/	/
			/	/	/	/	/
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	-	-	187
		執行額(G)	-	-	-	-	-
執行率(%) =(G)/(F)	-	-	-	-	-		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-	-	-	-		
令和5・6年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	初等中等教育振興費			新規要求による増		
	(目)	初等中等教育振興事業委託費	-	183			
	(目)	委員等旅費	-	2			
	(目)	諸謝金	-	1			
	(目)	職員旅費	-	1			
	(目)	教職員研修費	-	1			
	その他	-					
	計(A)	-	187				

活動内容① (アクティビティ)	通信制高校や教育センター等を中心拠点として遠隔教育や通信教育を活用した積極的な域内の学校間の連携・併修ネットワークを構築するモデル事業を実施する。									
↓										
活動目標及び活動実績① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	通信制高校や教育センター等を中心拠点とした遠隔教育や通信教育を活用した積極的な域内の学校間の連携・併修ネットワークの先進的な取組の創出	委託件数	活動実績	件	-	-	-	-	-	
			当初見込み	件	-	-	-	-	16	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	効果発現の初期段階として、まずは、委託事業採択校において、通信制高校や教育センター等を中心拠点とした遠隔教育や通信教育を活用した積極的な域内の学校間の連携・併修ネットワークが充実することで、原籍校で安定して登校することが難しい生徒の学びの保障や、原籍校で開講されない科目の履修など生徒の多様な学習ニーズに応じた学びが実現すると考えるため、本事業の支援を受けて構築したネットワークを構成する高校数を短期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6年度		
	通信制高校や教育センター等を中心拠点としたネットワークの確立。	本事業の支援を受けて構築したネットワークを構成する高校数	成果実績	校	-	-	-	-		
			目標値	校	-	-	-	64		
			達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	成果報告書									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	構成されたネットワーク内での連携が活発になることで、より充実した生徒の学びの保障や、多様な学習ニーズに応じた学びを実現できると考えたため、構成されたネットワークを活用した遠隔教育や通信教育を活用した学校間の連携・併修による授業の開講数を長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 -年度		
	構成されたネットワークにおいて、原籍校で安定して登校することが難しい生徒の学びの保障や、原籍校で開講されない科目の履修など生徒の多様な学習ニーズに応じた学びの実現。	構成されたネットワークを活用した遠隔教育等による授業の開講数	成果実績	科目	-	-	-	-		
			目標値	科目	-	-	-	160		
			達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	成果報告書									
アウトカム設定についての説明										
アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由										
アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由										

活動内容② (アクティビティ)	都道府県の枠組みを超えた複数の高等学校での合同授業(総合的な探究の時間や学校設定科目を想定。)の実施を通じた生徒同士の学び合いの深化、各々の得意分野を持つ指導者・外部人材等のリソースの共有を行う学校群ネットワークを構築する。									
↓										
活動目標及び活動実績② (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	都道府県の枠組みを超えた学校群ネットワークの先進的な取組の創出。	本事業の支援を受けて構築した学校群ネットワーク数	活動実績	数	-	-	-	-	-	
			当初見込み	数	-	-	-	-	5	
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	効果発現の初期段階として、まずは、委託事業採択先において、学校群ネットワークが充実することで、生徒同士の学び合いの深化、各々の得意分野を持つ指導者・外部人材等のリソースの円滑な共有が実現すると考えるため、本事業の支援を受けて構築した学校群ネットワークを構成する高校数を短期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績②-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6年度		
	都道府県の枠組みを超えた学校群ネットワークの確立。	本事業の支援を受けて構築した学校群ネットワークを構成する高校数	成果実績	校	-	-	-	-		
			目標値	校	-	-	-	15		
			達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	成果報告書									
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	構成されたネットワーク内での連携が活発になることで、更なる生徒同士の学び合いの深化、より充実した各々の得意分野を持つ指導者・外部人材等のリソースの円滑な共有が実現すると考えるため、本事業の学校群ネットワークを活用して行われた合同授業や意見交換等の実施数を長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績②-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 6年度		
	生徒同士の学び合いの深化、各々の得意分野を持つ指導者・外部人材等のリソースの共有。	本事業の学校群ネットワークを活用して行われた合同授業等の実施数	成果実績	数	-	-	-	-		
			目標値	数	-	-	-	60		
			達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	成果報告書									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由									
	アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由									

文部科学省

諸謝金 1.1百万円
職員旅費 0.8百万円
委員等旅費 1.6百万円

委託【随意契約(企画競争)】

①遠隔・通信等も活用した、学びの
機会の充実ネットワークの構築

【A】都道府県教育委員会等
(全16箇所)129百万

委託【随意契約(企画競争)】

①遠隔・通信等も活用した、学びの機会
の充実ネットワークの構築(伴走支援)

【B】民間企業
(全1機関)13百万円

委託【随意契約(企画競争)】

②都道府県の枠組みを超えた、高等
学校連携ネットワークの構築

【C】民間企業
(全1機関)41百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック